

令和4年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く力が身に付いている。
- 表現技法の名前や特徴について理解している。
- 行書の特徴を理解することに課題が見られる。

【数 学】

- 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する力が身に付いている。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができている。
- 図形の証明において、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られる。

【理 科】

- 考察の妥当性を高めたり、実験の計画を検討して改善したりする考え方が身に付いている。
- 実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述することができている。
- 日常生活や社会の中で生じる現象から、知識及び技能を活用することに課題が見られる。

2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 自分と異なる意見について考えることを好意的に捉えている。
- 総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を収集・整理、発表など学習に取り組むことができている。
- タブレット等を使った学習において、意見交流や自分の考えをまとめることに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・根拠を明確にして自分の意見を考え、発表する場を数回設けた。
- ・文字式の証明の手順を示し、繰り返し練習をする場を設けた。
- ・表や式、グラフの基礎的な関係の徹底を図った。
- ・実験結果から考察を行う考察カードがうまく活用できていた。

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・言葉の意味や書写の特徴など知識力を深めるような授業を取り組んでいく。
- ・合同や相似な図形を見てどの条件を使うことができるのか、根拠を持って判断し説明することができるように練習を行う。
- ・学習したキーワードを使って考察した結果を更に深め表現する機会を設定していく。

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・各教科や道徳をはじめ、意見交流を取り入れている。
- ・総合的な学習の時間で、生徒自ら活動できる活動を取り入れている。

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学校全体を通じて、タブレットの活用の推進を図る。